



見る
聞く
さがす
夢がある

日立市民の
生涯学習

百年塾ひろば

第15号 発行日/1993. 8. 20
発行/ひたち生き生き百年塾推進本部
編集/百年塾ひろば編集委員会
事務局/生涯学習室 ☎0294-22-3111
〒317 日立市助川町1-1-1

ひたちの未来をさぐる

去る7月1日「ひたちの未来をさぐる」と題して、百年塾推進本部主催によるフォーラム&コンサートが日立シビックセンター音楽ホールで開催され、約400人が参加しました。

柔らかな、美しいハーモニーの女性合唱団による歌声で静かに幕があき、主催者を代表して推進部長の飯山市長が「来るべき21世紀に向けて、日立が地域社会として、どう生きていくべきか。市民的議論をかわし、まちづくりのカルテと薬の調合を間違えないように市民の皆さんの知恵と提案をお聞かせしたい」と挨拶。フルート・クラリネット・ピアノによるクラシック演奏に耳を傾けた後、全体討論に入りました。

パネリストには、今春3月発刊された「企業城下町・日立のリストラ」の執筆者8人のうちの雨宮さん・斎藤さん・長谷川さん（以上秋大の先生）・赤津さん（日立製作所センター研究所）の4人の先生方、市民からコミュニティリーダーの古川さん（日立学区住みかまちづくり委員会）、企業から川又さん（日立製作所部長）、行政から大沢さん（市都市計画課長）の7人が、コーディネーターとして執筆・編者の帯刀茨城大教授が出席されました。



の人々が山側の団地に入居し、同じように年をとり、同じように若者が出ていって、同じように戻って来ない現状がある」と問題提起がありました。古川さんからは、「市民活動・コミュニティづくりに多くの

日立市の現状と課題

執筆者の先生方から、「日立市のまちづくりを考える場合、歴史的に工業都市形成上のような特徴をもっているかを知る必要がある。その特徴の一つに、大規模な工場があり、そこに働く従業員とその家族が多いことがあげられ、三つの核とも言える分散型都市構造となっている。このことは商業集積や交通渋滞等における問題をかかえ、さらに高齢社会を目前にして、同じ年齢層家族構成

市民が参加していると思っていたが、参加実数が増えない、根っここのところ動いていない現実には大きな問題がある。」

川又さんからは「企業といえどもひとりの市民であると思うがどのような形で地域と共生したらよいのか手さぐり中であり、市民・行政と話し合いながら進みたい」という発言がありました。



この若者たちの未来は...

■若者が定住するまちづくり

高校生の4人に1人が、このまちを出ていきたいと言う調査結果から問題をしばらく議論が続けられ、「大人が子どもの地域社会における役割を奪っていないか。反面、大人の地域に対する思いを子供達に伝えていないのではないか。若者が外へ出て行くのは若者の特権であり、悲観的にだけ考えないで、若者定住を図るためには、職場の質的確保、夢のある賑わい、多様な選択肢等、若者が再び戻りたくなるような条件整備をあらゆる分野で考え、行動する必要があります。」との意見が述べられました。

■市民参加のまちづくり

「日立市は、市民活動の活発なまちであると思うが、限られた階層の参加で、多様な市民が多様な形で参加していないのでは」との問題が投げかけられました。パネリストそれぞれの立場から、市民であり企業の従業員である多くの市民のバランスある参加、日立らしい参加方式、その地域

の実態に促した方式が生まれることを期待する意見が多くありました。

そこに住んでいると言うことは、それだけでまちづくりに参加していることであり、日立の未来を決定するのは私たち市民一人ひとりではないでしょうか。

■会場アンケートの結果

115人（男53人 女62人）が回答、参加して大変よかった、よかったと答えた人が85人。理由として、多数の人が日立の現状、課題がわかり市民、企業、行政、学者が同テーブルで語り合ったことをあげています。

また、102人が自由意見を記しており主なものは次のとおりでした。

- テーマ、方法を検討し継続開催を
- 女性、若ものをパネリストに
- もっと会場の意見を取り上げてほしい
- 市民活動の行政下請化防止。リーダー研修、若返りを
- アパート、社宅等に住む市民の参加誘導を

本部長レポート 気軽に 素直に 自然体で

今回は、飯山本部長に7月1日に開催したまちづくりフォーラム「人・企業・まちのさわやかハーモニー」(ひたちの未来をさぐる)に関連した内容で私たちの身近な問題についてお聞きしました。

——都会志向の若ものが、将来日立に住みたいと思うようなまちづくりについてお伺いします。

飯山 若ものは多様で個性的なものを好むので選択肢が多く、多様性に富んだ大都会の魅力に魅かれるのは当然だと思います。日立のまちの特性を生かして若者に魅力ある要素を再考していく必要があります。日立の魅力それは海・山などの自然です。そして、ハイテク技術があります。

若ものと具体的に知恵を出し合い、動いていけば若ものにも魅力あるまちになる条件はあるのではないのでしょうか。

——フォーラムの中で、世帯主は女性ではないか……との話がありまし

たが女性のパワーを生かすにはどのようにしたらいいとお考えですか。

飯山 あまり力まずに、気軽に素直に自然体で動いたらどうでしょう。小さな輪がどんどん広がって全体として結びついていけば、女性の力をもっと発揮されると思います。在宅介護システム「ライフ・ケア・ひたち」などはいいい例ですね。

——社会のあらゆるところに長い年月をかけて築いてきた女性なればその生活文化がたくさんあります。できることからやっていくといいと思います。

——働く男性がもう少しまちづくりに目を向けられるよう企業などがもう少し後押ししてほしいと思います

が……。

飯山 日立は比較的他の市町村に比べて働く男性の地域活動は多い方だと思います。

時代が変わり会社人間だけでは生きていけないし、いい仕事をしてもらうには社会人間でなければならないと企業も考えているようです。地域に支えられない企業は発展しないとの考え方を出発点に、社員研修等も地域に根ざしたテーマを取り入れたりしています。

このようないい傾向をこれからも続けてほしいですね。

——これから、ますます百年塾の考え方が重要になってくると思いますか……。

飯山 生涯学習という特別なことのように聞こえますが、昔から人間が人間らしく生きていくという当たり前のことを言っているのですよね。私たちはみんな忙しすぎます。この



■本部長 飯山利雄市長
●イラスト 橋沢奈美

へんで深呼吸してみるのも必要ではないでしょうか。新しい空気を吸うと真実が見えてくることがあります。自分のリズムで生活し、自分自身に気づき、自分を表現しながら仲間をつくり、仲間づくりをしながらまちづくりに貢献することが大切だと思います。

百年塾は、大切な出会いに気づく自分をつくる学習と実践かも知れません。私たちも気軽に自然体で何ができることから始めてみましょう。



(レポート 百年塾広報部 藤田綾子・有松閑子)

交通安全を呼び掛けて 高齢者2000世帯訪問

—交通安全母の会連合会—

近年、急増する高齢者の交通事故防止に対し、全国各地でさまざまな対策が講じられていますが、そのひとつに高齢者世帯訪問事業があります。日立でも11年前から、高齢者のお宅を個別訪問することによって、よりきめ細かな交通安全の呼びかけを行ってきました。

全国的にもパイオニア的存在です。今年度は総務庁の委託を受け、関係各機関の協力により、従来行っていた年間約800世帯を大幅に拡大し、市内2000世帯の高齢者のお宅を夏・秋に分けて訪問することになりました。

さる7月28日、70歳以上の高齢者約1000世帯を対象に第一回目の訪問が実施されました。

夏の午後のひととき、たすきを着けた母の会会員や制服姿の警察の人の突然の訪問に、お年寄りの多く

は、一瞬、戸惑いや警戒の表情を見せましたが、訪問の目的を知るとほとんどの人が心良く話を聞き、歓迎の意を示してくれました。

ひとくちに高齢者といっても、お

訪ねたお年寄り達の様子は実にさまざまです。若々しく元気に仕事や趣味で社会参加をしている人もいれば、からだの不自由や不調で入退院を繰り返したり、家に閉じこもって



この笑顔 いつまでも

いる人達も少なくありませんでした。また、独り暮らしや老夫婦のみのお宅も予想以上に多く、まさに高齢化社会をむかえていることを改めて感じました。

こうした高齢者の方々に、家庭はもとより地域ぐるみで温かい手を差し伸べ、交通事故から守っていくことは勿論、お年寄りをいわゆる「交通弱者」として守るだけでなく、車社会に生きる一員としての自覚を促し、自らの意志と努力で認識を高めることへの働きかけが、高齢者の事故防止対策にはより必要とされます。

そして交通安全のみならず、激動の時代を生き抜き、近代社会の礎を築いてこられた高齢者の方々の幸せを願い、高齢者問題を「やがては自らの歩む道」として関わっていくことが、私達一人一人に与えられた課題であると言えます。

(日立地区交通安全母の会連合会発)

「環境ウォーク in ひたち」を開催

さる7月4日、梅雨模様の合間をぬる晴天に恵まれ、環境ウォーク in ひたちを実施しました。

これは、日立市健康づくり推進協議会、(社団法人)日立青年会議所による共催で今年で3回目を迎えました。これまでは「桜」「海岸」をテーマに実施してきましたが、今年のテーマは「環境」。

私たちの住む街を身近なところから見通してみようということで小水津山から神峰公園までの約8キロのハイキングコースを、市民435名で歩

いてみました。

「環境」というテーマにちなんで、途中でネイチャーゲームの体験やバックテストによる水質調査、水の浄化されるしくみの展示など、様々な角度から、この地球環境を考えるきっかけを盛り込んでみました。

全員が無事完歩して、みんなて食べたお汁、おにぎりの味は格別でした。

(日立青年会議所発)



市民教養 93.3~7月に登録された方 あの人この人 50音順 53名

小豆畑安男 (柔道) 阿部勝子 (華道) 石川徳雄 (写真) 石川善枝 (もつぎ磯崎スミ) (民謡) 井上豊子 (カラオケ) 今橋利満 (演劇) 今橋基治 (いぬい) 海野重三 (ハーモニカ) 海野悟 (国際線) 江川恵子 (バドミントン) 江尻勝子 (聴覚) 大内君子 (華道) 大部秋男 (山手線) 大森真津夫 (日本画) 大和田茂 (パソコン) 岡部光雄 (旅行) 小園春樹 (陶芸) 小野俊雄 (コミュニティ活動) 菅野正三郎 (書道) 北原真寿美 (ゲーム) 湯山三和子 (洋裁) 慶野弘子 (美術) 佐々木正祥

(読書) 下坂卓夫 (柔道) 鈴木きくえ (押し絵) 相田みゆ子 (和紙) 鈴木定夫 (和紙) 須藤重男 (洋裁) 関正和 (クラシックギター) 高橋友子 (料理) 徳永幸雄 (コーラス) 豊田延哉 (書道) 中島加奈恵 (フラワーデザイン) 中本禮子 (フラワーアレンジメント) 永沼みち子 (書道) 新妻ヒロ子 (フォークダンス) 沼田栄三 (写真) 野村キヨ (書道) 畑中光子 (洋裁) 平松光子 (バドミントン) 古川稔 (コミュニティ活動) 増子栄寿 (イラスト) 松原徳子 (おやつ作り) 水庭瑠子 (書道) 森田律子 (習字) 八木沢やす子 (和紙) 谷野茂 (民謡) 山口誠二 (水泳) 山崎猛夫 (ホムバービーの指導) 淀野昌子 (日本舞踊) 綿引朋子 (ヨガ)

毎月第2土曜日、学校が休みになって1年。昨年の今頃は、子供も親も学校も地域もそれぞれが何をしたらよいのかと思いをめぐらせていたはず。学校週5日制にどう対処

生き生きさわやか教育推進事業
三世代で尾瀬沼ハイキング



去年は、22の学区で話し合いや第2土曜日に子供たちを対象とした様々な事業が行われました。

金沢小学区では、昨年の議論から具体的な事業活動へと発展し、夏休みを利用した三世代交流の尾瀬沼ハイキングを企画。7月26日~27日に

したらよい...市内の各学区で、校やPTA、コミュニティほかさまざまな代表の方が集まって日立の明日を担う子供たちのために会議を持ち真剣に議論を重ねました。

約150名の方が参加されました。百年塾では、このような子供たちのための実践活動を応援します。地域の特徴を生かした事業やユニークな活動を実施するための経費の助成しますのでご相談下さい。

永六輔さんを囲み 共楽館を考える集いにご参加を

一丸の発展点として活躍した共楽館の歴史・活用について語ろう

とき 8月25日(水) 午後6時30分~9時
ところ 日立武道館(旧共楽館) 白銀町2-21-15
出演 講演 永六輔 落語 入船亭扇遊

参加費 1,500円(懇親会費含む)
問合せ 共楽館を考える集い事務局 ☎34-2985

※ 駐車場がありませんのでバスをご利用下さい。
バス:日立駅発(7時5:20、5:55)東河内行、武道館前下車 武道館前発(7時9:00)日立駅行

百年塾相談コーナー(百年塾サロン)
☎24-7744 火~金曜日 午前10時~午後4時

講座・教室など募集します

国際理解教育プログラム

「フード・ファースト・カリキュラム」
一食の物語を通して世界を見つめよう 小学4年生以上 参加費無料
・第1回9月25日(土)シビックセンター702~704 90名
・第2回10月9日(土)(坂本小学校の予定)
・第3回10月23日(土)シビックセンター702~704
いずれも午後2時~5時の予定

問合せ 黒沢 ☎52-2446
ハーブ料理教室
とき 9月~2月の第3水曜日 午前9:30~午後12:30 (6回シリーズ)
ところ 東金沢公民館 定員30名
会費 1,500円
問合せ 木村 ☎35-1982
胎教・出産について考える会

とき 9月21日(火) 午後1時~3時
ところ 仲町コミュニティセンター
会費 500円(資料代)
講師 加茂吉子先生(助産婦)
問合せ 水庭 ☎24-4128
トレリス社交ダンス同好会
とき 毎週火曜日 午後1時~3時
ところ 多賀公民館 3号室
初心者・家族同伴歓迎

会費 1,000円
問合せ 大平 ☎35-2096
かけ絵の出前いたします
※ 仲間も募集中 ※
手作りして美しい
メルヘンの世界を与えたい
ふるさとの話を伝えたい、かけ絵で一冊に集めませんか
問合せ かけ絵同好会 斉藤 ☎35-5038
萩庭 ☎35-1079